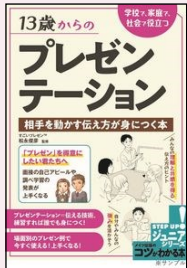


図書館新聞 2022年12月号



『13歳からのプレゼンテーション』

まつなが としひこ かんしゅう
松永 俊彦/監修 メイツユニバーサルコンテンツ (Y809マ)

プレゼンテーションとは、相手に自分の気持ちを伝えること。調べ学習の発表、面接の自己アピール、おこづかいアップの交渉など、あらゆる場面で役に立つプレゼンテーションのコツを、マンガやイラストを交えて解説する。

『千に染める古の色』

くぼた かおり しづれ
久保田 香里/著 紫昏 たう/絵

アリス館 (YFカタ)

平安時代の京の都。人々から「かぐや姫」とよばれていた右大臣の娘・千古は、成人の儀式が近く、外出を禁止されていた。しかし、「かさねの色目」をきっかけに、自分で着物を染めてみたくなり外に出て行ってしまい…。姫君の自立と成長の物語。



『ぼくたちはまだ出逢っていない』

やつか すみこ
八束 澄子/著
ポプラ社 (YFヤツカ)

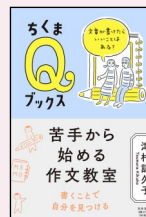
イギリス人と日本人のハーフでいじめに悩む陸。母親の再婚相手の家に岡山から越してきた美雨。「漆」に導かれてめぐりあったふたりの世界が、少しずつ変わっていき…。伝統技法「金継ぎ」に彩られた出逢いと修復の物語。



『マスク越しのおはよう』

やまもと えつこ たなか みほ
山本 悦子/著 田中 海帆/絵
講談社 (YFマエト)

小山さんにマスクの性能を疑われてから、マスクが気になってしょうがない。だいたい、あたしと妹は3枚しかマスクを持っていない。「ヒョウ柄マスクのプリンセス」や「風に吹かれて」など、コロナ禍の子ども達の心をリアルを描いた5編を収録。



『苦手から始める作文教室』

つむら きくこ
津村 記久子/著
筑摩書房 (Y816ツ)

作文は何を書いたらいいのだろう？
作文を書いたらいいことがある？伝わる文章ってどんなもの？作文のテーマの立てかたや書くための準備、書き出しや見直しの方法などを紹介する。



☆図書館休館日:5日(月) ☆公民館図書室休館日:5日(月)・14日(水) ☆年末年始の休館:28日(水)～1月4日(水)